

文化史・文化理論の再検討

研究代表者 佐々木 充

1. 分担者

石田 美紀
猪俣 賢司
齋藤 陽一
佐々木 充
番場 俊
逸見 龍生
福沢 榮司
福田 一雄
三浦 淳

2. 2007年度の研究活動の概要

20世紀的な知を再検討し、文化史・文化理論の再構築を目指す本プロジェクトは、(a)表現媒体間の比較研究、(b)文化媒介のダイナミクス、(c)大衆文化へのアプローチ、(d)物語理論とイメージ論の四点を中心に進められている。以下、これに沿って2007年度の研究の概要を述べる。

研究課題の(a)表現媒体間の比較研究で、佐々木は、シェイクスピア劇の映画化により、テキスト・舞台表現・映像の間でいかなる変化が生じているかを検討した。猪俣は、ゴジラ映画と歴史言説の関係を追究した。番場は、ドストエフスキーとバフチンにおける〈声〉に対するディスクール論的アプローチを試みた。

(b) 文化媒介のダイナミクスについては、三浦による鯨イルカ・イデオロギーの検討が継続的に進められている。

(c) 大衆文化へのアプローチは、佐々木の宮崎アニメやシェイクスピア劇の映

- 画化に関する研究、齋藤の演劇研究と上演、猪俣のゴジラ映画研究、および石田の映画から宝塚にいたる広範囲にわたる研究によって進められている。
- (d) 物語理論とイメージ論で、番場は、アイコンからアヴァンギャルドにいたるロシア美術の反遠近法の伝統を、西欧のモダニズム絵画との関係において位置づける試みをおこなった。

3. 2007年度の研究成果の概要

「研究成果一覧」の通り。

4. 2007年度の研究成果の一覧

A. 著書

- (1) 番場俊・乗松亨平・北野圭介（共同討議）「ヤンポリスキー来日のあとで」、ミハイル・ヤンポリスキー『隠喩・神話・事実性 — ミハイル・ヤンポリスキー日本講演集』平松潤奈・乗松亨平・畠山宗明訳、水声社、2007年、141-189頁。
- (2) 石田美紀「第四章 新しい身体と場所 — 映画史における『ロード・オブ・ザ・リング』三部作」藤井仁子（編著）『入門・現代ハリウッド映画講義』、人文書院、2008年、95-119頁。
- (3) 石田美紀「物語映画における「私」の位置」、栗原隆（編著）『形と空間のなかの私』東北大学出版会、2008年5月。

B. 論文

- (1) 佐々木 充『『ハムレット』における想起の技法 — ロレンス・オリヴィエ監督・主演の映画『ハムレット』（1948）—』『英文学会誌』第三十号、2007年12月、43-58頁。
- (2) 三浦淳「鯨イルカ・イデオロギーを考える（Ⅲ） — ジャック・マイヨールの場合 —」『人文科学研究』第123輯、2007年10月、67-90頁。
- (3) 猪俣賢司「南洋群島とインファント島 — 帝国日本の南洋航空路とモスラの映像詩学 —」『人文科学研究』、第123輯、2007年10月、91-123頁。

- (4) 石田美紀「響きと吐息 〈声のBL〉という申し開きのできない快樂について」『ユリイカ』39巻16号, 青土社, 2007年, 190-196頁。
- (5) 番場俊「スタヴローギンの告白?—『悪霊』論の手前で」, 『ユリイカ』2007年11月号, 111-117頁。

C. 翻訳

- (1) 逸見龍生 (訳)「希望のヨーロッパ」(ジャック・デリダ著), 2007年12月『別冊・環』(藤原書店)。
- (2) 逸見龍生 (訳)「声の中の空虚 — ボードレール, ヴェルレーヌ, マラルメ」(エリック・ブノワ著)『新潟大学フランス文化研究』2008年, 第1号, pp.89-108。

D. その他

- (1) 三浦淳 書評:ハインリヒ・マン著, 今井敦訳『ウンラート教授』(松籟社, 2007年)産経新聞, 2007年12月2日, 第13面読書欄。
- (2) 石田美紀「あらすじ・解説」『イタリア映画祭2007』朝日新聞社, 2007年, 33-67頁。
- (3) 石田美紀「第7章「キャラ」が生まれるとき — 高島華宵の〈華宵顔〉」『人文情報学シンポジウム — キャラクター・データベース・共同行為 —』, 「京都大学21世紀 COE プログラム 東アジア世界の人文情報学教育研究拠点 漢字文化の全き継承と発展のために」, 2007年, 65-75頁。
- (4) 石田美紀:書評:野島直子『ラカンで読む寺山修司の世界』(トランスビュー社, 2007年)『映像学』79号, 2007年, 65-69頁。
- (5) 石田美紀「イタリア／アンナ・マニャーニにイタリア人は戦後の自画像を見た」『をちこち』21号, 国際交流基金, 2008年, 35-37頁。
- (6) 石田美紀「特集 2007宝塚プレイバック」『宝塚イズム』3, 青弓社, 2008年3月, 19-24頁。

E. その他の実績

1) 内外で開催された国際学会・国際シンポジウムの開催・講演・報告の実績

- (1) 佐々木充：新潟大学コア・ステーション・Institute for the Study of the 19th Century Scholarship 主催・19世紀学学会・新潟大学人文学部「〈声〉とテキスト論」プロジェクト共催による第二回国際シンポジウム「声とテキストとまなざしの19世紀」（オーガナイザー兼総合司会）。
- (2) 逸見龍生：Tatsuo HEMMI “Quelques réflexions sur l'article “Âme”, XIIème Congrès de la Société Internationale d'Étude du XVIIIème siècle (SIEDS), le 10 juillet 2007, Les universités de Montpellier (France)
(第12回国際18世紀学会・国際シンポジウム “Sur l'importance des métadonnées de l'Encyclopédie” 2007年7月10日・モンペリエ大学（フランス共和国））。

2) 全国学会の開催・講演・報告の実績

- (1) 逸見龍生：平成19年度春季日本フランス語フランス文学会全国大会・18世紀研究会「日本における『百科全書』パリ版デジタルアーカイブ共同研究の現状」2007年5月19日・明治大学（コーディネーター，基調報告）。
- (2) 逸見龍生：平成19年度日本18世紀学会第29回全国大会・共通論題「『百科全書』研究の新地平」2007年6月17日・東京工業大学（コーディネーター兼総合司会：趣旨説明）。
- (3) クレール・フォヴェルグ（名古屋大学文学部外国人教師）「Inquiétude, individualité et perfectibilité – la lecture diderotienne de concepts leibniziens」平成19年度秋季日本フランス語フランス文学会全国大会・18世紀研究会，2007年11月10日，関西大学文学部 学会司会（フランス語による）。
- (4) 石田美紀 講演「イタリア無声映画の栄光と没落 — ジョヴァンニ・パストローネ『カピリア』（1914）を巡って」京都大学人文科学研究所主催「人文研アカデミー 第一次世界大戦と芸術」，2007年5月31日，京都

大学人文科学研究所。

- (5) 石田美紀：シンポジウム企画・司会「高島華宵生誕120周年記念シンポジウム 華宵とセクシュアリティ」, 大正イマジユリィ学会, 2008年3月9日, 京都国際マンガミュージアム。
- (6) 石田美紀 招聘講演「実写映像の存在論再考 — 現代ハリウッド映画におけるCG技術と俳優身体」, 国際文化学会, 2008年3月17日, 静岡県立大学。
- (7) 石田美紀 発表「声とキャラクター：音響と視覚における融合と乖離」第2回人文情報学シンポジウム — キャラクター・身体・コミュニティ, 2008年3月22日, 京都市国際交流会館。

3) 学内および学内を中心とした学会・研究会の開催・司会・報告の実績

- (1) 佐々木 充「表現文化研究フォーラム」2007年6月20日を開催・司会。
- (2) 佐々木 充「表現文化研究フォーラム」2008年2月20日を開催・司会。
- (3) 猪俣賢司発表「南洋史観とゴジラ映画 — 皇国日本の幻想地理学 —」表現文化研究フォーラム, 人文学部研究プロジェクト「文化史・文化理論の再構築」主催, 現社研プロジェクト「表象文化の比較総合的研究」共催, 2008年2月20日。
- (4) 石田美紀発表「ハリウッド映画に対する勝利と敗北 — イタリア無声映画『カビリア』を中心に —」, 表現文化研究フォーラム, 人文学部研究プロジェクト「文化史・文化理論の再構築」主催, 現社研プロジェクト「表象文化の比較総合的研究」共催 2007年6月20日。

4) 調査歴

- (1) 佐々木 充：2008年3月9日～3月19日
大英図書館・シェイクスピアセンター図書館（連合王国）にて資料調査（科学研究費基盤研究（C）・「〈声〉とテキストに関する比較総合的研究」分担者）。
- (2) 逸見龍生：2007年7月9日～平成19年7月12日

モンペリエ大学図書館（フランス共和国）にて資料調査（科学研究費基盤研究（B）「啓蒙と東アジア：相互性のプリズムを通じた18世紀学の構築」分担者）。

(3) 番場俊：2007年9月12日～9月19日

ロシア国立図書館（P Г Б）（ロシア連邦）にて資料調査（科学研究費若手研究（B）「ロシア文化史のコンテキストにおけるミハイル・バフチンの記号概念の再検討」研究代表者）